

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
高岸憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川秀樹

編集同人

生田義和 澤村誠志
井樋栄二 田辺剛造
岩田 久 田畑四郎
岩本幸英 玉置哲也
大井利夫 中村耕三
小野村敏信 馬場久敏
加藤博之 浜西千秋
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
楠田喜三郎 持田讓治
酒 匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

猛暑もおさまり、朝夕は快適になりました。今夏は日本各地で35℃以上の猛暑日が連続し、四万十市で最高気温を更新(41.0℃)しました。その他にも集中豪雨とゲリラ豪雨など異常気象に見舞われ、数十年に一度の大災害に対応する特別警報も設定されました。海温上昇に伴い珊瑚の北限も更新され、回遊魚の種類も変化しています。未来のためにも地球温暖化のプロセスの解明と対策が急がれます。

本号の特集「低出力超音波パルス(LIPUS)による骨折治療」は神宮司先生の素晴らしい企画です。基礎分野ではLIPUSが骨折血腫細胞の軟骨分化と骨分化を促進し、骨分化はBMP-7の関与によりさら促進されることが報告され、これは偽関節や遷延治癒骨折に加えて新鮮骨折に対する有効性を裏付ける研究です。また骨髄血移植との併用の効果も示されました。臨床面では、鎖骨骨折で癒合までの期間の短縮、舟状骨骨折で高い骨癒合率が示されています。創傷被覆材のフィルムタイプはLIPUS治療に影響は少なく、ハイドロコロイドタイプは適さないことが示されました。多発外傷で骨折部に創傷被覆材を貼付する場合の指標になります。大腿骨近位部骨折に対するLIPUS治療は、骨癒合を促進させることにより術後の早期荷重を可能にし、入院期間を短縮することができますが、LIPUSの診療報酬算定が開始時の1回しかできないため、回復期医療機関の理解と協力が必要であり、地域連携パスの構築と活用が重要なことが示されました。

「調査報告」の「単一施設で実施された脊椎内視鏡手術2,500例の検討」は、貴重な報告であり、症例を積み重ねるにつれ対象疾患が初発腰椎椎間板ヘルニアから、再発ヘルニアや頸椎疾患へと変遷した経緯が報告されています。「PLIF後の骨癒合状態は患者のQOLに影響を与えるか」はJOABPEQを用いてPLIF術後の骨癒合状態と患者のQOLに与える影響を評価し、骨癒合が得られていない例では臀部・下肢痛のVAS値が高く、疼痛関連障害や社会生活障害を自覚していることが示されました。「検査法」の「EOS system—低照射線量による新しい立位放射線撮影機器」は低放射線被曝で、頭部から足部まで正面と側面の立位画像が同時に得られ、三次元復元により冠状画像、矢状画像、top-view画像が得られ、特に側弯症をはじめとする脊柱疾患の経緯を観察するのに有用であり、その他、機能撮影や骨盤・四肢骨の評価にも有用な可能性が示唆されています。「Lecture」の「整形外科における臨床試験のデザインのある方」は重要な分野であり、これから臨床試験を始める若手医師にはぜひ一読をお勧めします。「整形外科超音波診断・治療アドバンコース」や「臨床経験」の「腰椎後側方固定術に対するパイプローラー有用性についての検討」など本号は有用な情報が満載されています。日常の臨床や研究にお役立ていただければ幸いです。(金谷文則)

臨床整形外科 (第48巻第10号)

2013年10月25日発行(毎月1回25日発行)

定価2,625円(本体2,500円+税5%)

2013年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400円

冊子+電子版/個人 34,400円

冊子+電子版/共有 38,900円

電子版/個人 29,400円

電子版/共有 33,900円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2013, Printed in Japan.

- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・【JCOPY】(株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。